

事業箇所総合評価シート

【担当課：平城宮跡事業推進室】

事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)	路線名等	平城宮跡歴史公園	
箇所名	平城宮跡歴史公園 朱雀大路東側地区(Ⅰ期)(奈良市二条大路南三丁目)			
事業の概要	目的	・特別史跡、かつ、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つとなっている我が国を代表する歴史・文化遺産である平城宮跡の一層の保存と活用を図るため、平城宮跡歴史公園として、国営公園整備と連携を図りながら都市公園事業を実施する。		
	事業内容	面積:0.9ha 事業内容:都市公園整備(歴史体験学習館の整備)		
	着手年度	平成29年度	完成年度(予定)	平成34年度
	全体事業費	4,600百万円		

定性的評価	事業の必要性	<p>【必要性】</p> <p>①特別史跡・世界遺産である歴史・文化遺産としての適切な保存・管理</p> <p>②古代国家の歴史・文化の体感・体験</p> <p>③古都奈良の歴史・文化を知る拠点づくり</p> <p>④国営公園として利活用性の高い空間形成</p> <p>⑤特別史跡区域内で実現が困難な公園機能を当該事業箇所では整備することにより、国営公園と一体となった公園機能を発揮</p> <p>【緊急性】</p> <p>①拠点ゾーン内の朱雀大路西側及び東側(国整備区域)が先行して平成29年度に完成(予定)することから、朱雀大路東側(県整備区域)についても早期着手が求められる</p> <p>②第一次大極殿院建造物の復原整備等、国営公園整備と連携した整備が必要</p>
	上位計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」(昭和53年) ・国営公園化(口号公園)の閣議決定(平成20年) ・「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域 基本計画」(平成20年) ・平城宮跡歴史公園として都市計画決定(平成21年) ・「平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画」(平成25年)
	事業の有効性(事業により予想される効果及び影響)	<p>【費用対便益】</p> <p>B/C=1.15(国営公園と一体的に算出)</p> <p>【便益に計上されていない効果】</p> <p>①歴史・文化資産の保存効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡の貴重な埋蔵文化財を保護し、また、市街地の中に残る自然環境の保全にも努めながら史跡と一体的な国営公園としての価値を向上することでより幅広い層に平城宮跡の魅力を伝え、奈良県の観光振興への寄与が期待される
	コスト削減への取組み	施設の計画・設計、施工のそれぞれの段階において、材料や工法の見直し等を行いコスト削減に努める
	地元情勢等	国営公園事業推進のため、関係機関(国土交通省、文化庁、奈良市、奈良文化財研究所)で構成される平城宮跡保存・活用連絡協議会を開催
他計画他事業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国営公園(口号)整備 ・拠点ゾーン(朱雀大路西側地区及び朱雀大路東側地区の一部)を含めた平城宮跡歴史公園が平成29年度に完成予定 	

評価結果	左の理由
採択	「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園基本計画」に位置づけがあり、特別史跡、世界遺産である平城宮跡のより一層の保存と活用を図るため、国営公園と一体となって整備することにより、県の観光振興に寄与すると見込まれることから必要性が認められる。

■平城宮跡歴史公園の位置図



出典)国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域 基本計画



※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1を複製したもの(平21近使、第65号)を、一部使用したものである。

■公園基本計画における平城宮跡歴史公園ゾーニング

シンボルゾーン

- 第一次大極殿正殿や朱雀門等の復原建物などを中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、往時の平城宮の様子を体感・体験できるようにします。

緑地ゾーン

- 平城宮跡の広がりや周辺地域との歴史的な関わりを感じ、散策や自然観察など多様なレクリエーション利用ができるようにします。

外周ゾーン

- 隣接する市街地の遮蔽とあわせて、循環园路や公園の出入口として必要な施設を設けます。

拠点ゾーン

- 平城宮跡の正面玄関として、平城宮跡全体のガイダンスや資料展示を行う施設、利用案内サービス提供の拠点となる施設等を集約的に設けます。

出典)国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域 基本計画

■拠点ゾーン平面図

